

結婚はさておき城を…買う？



家族を持ったら買うイメージがあつて、シングル女性とは微妙な距離感があるマイホーム。でも、若くして購入を検討する人もいる。考えるポイントって、みなさんどこでしたか。(阿部明蔵)

住む

■迷う引継

埼玉県に住む猪瀬安希子さん(31)は不動産会社勤務で、自身の不動産購入意欲も高い。それでも探し始めておよそ1年「なかなか条件に合う物件がなくて」という。買いたい理由は「毎月払う家賃もつたらない」と感じるから。チワワ4匹と住む1



① エステムプラザ川崎ウエストレジデンス(川崎市)のモデルルーム見学会。家を探す猪瀬さん(左)と猪瀬さんのチワワたち(右)。「ふんごうさん女子」の女子会でライブプランと不動産を考える参加者(右)間取り図色々

マイホーム資産性考慮／一目ぼれ危険

LDKは家賃月額約9万2000円。「ペット可」の分、やや割高で、次の契約更新までに家を買って引っ越したいと思っている。

営業職でバリバリ働いて、いま年収は約750万円。35年のフルローンを組んで400万〜500万円の物件を買いたい。家賃と違い、ローンを払えば家は資産になる。慎重になるのはいろいろ不確定要素があるからだ。一つは「結婚」。故郷の同級生は多くが既婚で、自分も結婚はしたいがまだ予定はない。いま買えば結婚するとき手放すかもしれない。でも結婚しなかったら一生住むのかも。どちらでも困らない立地や間取りと考えると、決断できる物件にまだ巡り合わない。もし業績が落ちたり、配置

■即決25歳

25歳で東京都内のLDKを買った会社員女性(27)の話は「大丈夫？」と心配になるほど思い切りがよかった。神奈川県の実家でひとり暮らしに過ごしていたが、3年目の夏、不動産に興味があつて熱心に情報収集してい



た母親に「マンションの見学に行こう」と誘われた。駅から徒歩5分以内の場所に建設予定のマンションは「女性向け」のふれ込みで、収納が多くキッチンや浴室など水回りが使いやすいと評判だった。「部屋の感じもガリリでかわいい」。でも、自分が買うとは思っていなかった。年収約400万円。「ローンが組める年収ですよ」と言われ、その場で資金シミュレーションを見せられた。一番小さいLDKは約3000万円。35年ローンで頭金、ボーナス払いなしだと毎月の返済は約10万円になる。「いま貯金している額を支払いに回せば無理じゃないと思う」と、急に購入が現実味を増した。

決め手は、しつかり者の母親が「良いんじゃない」と言ったこと。なんとその場で仮予約を申し込んだ。「比べ始めたら決められなくなる」と思い、もっと探そうとは考えなかった。

引越した今は、帰宅が楽しみで、旅先でも「帰ってうちのシャワー浴びたい」と考えるという。

「結婚ですか？ 機会があればいいですけど、2人には狭い部屋なので、次に買うときはもう少し慎重に考えます。結婚できなくても、この家があるから困らないかなっていう安心感もあります」。実は背伸びしたみたいで気が恥ずかしく、友達には「賃貸」と言っている。「更新料は？」と聞かれて取り繕うのが大変

だった。

■勉強が必要

買うには勉強が必要だ。女性ばかりで不動産を話題に交流する「ふんごうさん女子」という活動がある。猪瀬さんの勤め先でもある埼玉県の不動産会社が2017年に始めた。イベントで物件のあつせんはせず、ローンやインテリアなどをテーマに講師を招いて女子会を開き、勉強や情報交換をしている。1000人以上いる会員は不動産関係の仕事の女性が多いが、他業種の人も来る。

人生設計のいつ、住宅購入を組み込むかをテーマにした回もあった。結婚や出産などライフイベントと関連づけて考えている人が多いからだ。運営メンバーの中山紫吹里さん(26)は同社で販売を担当する。「私と同じ年の女性が両親と住むためにとか、シングルマザーが子どもと住むために、と購入する例も担当しました。シングル女性が住宅を購入する理由は本当に色々です」と話す。

踏み出すか、慎重を期すか。いろいろな考え方があつた。若者のマンション購入を「家活」と名付けて奨励する

■考え方様々

踏み出すか、慎重を期すか。いろいろな考え方があつた。若者のマンション購入を「家活」と名付けて奨励する

●マンション購入のきっかけは何ですか

家賃や更新料がもつたいない	57.6%
快適で安全に暮らせる家欲しい	44.2
資産として残せる	37.1
このまま賃貸だと将来が不安	35.5
分譲マンションの方が設備仕様がよい	34.7

(複数回答のうち上位五つ。女性のみの調査。住まいる研究所の資料をもとに作成)

「家賃もつたない」

女性向けマンションの企画などを手がける「女性のための快適住まいづくり研究会」が昨年公表した、マンション購入女性(380人)へのアンケートで、購入理由は「家賃や更新料もつたない」が最多だった。購入年齢は40〜44歳が28.2%で最も多く、35〜39歳(26.1%)、30〜34歳(16.8%)と続く。25〜29歳、50〜54歳もそれぞれ10%程度いた。

■あとがき

不動産購入を巡る、いろいろな言葉を聞いた。「100%はない。75%でよしとする」「慎重に」「考え過ぎてためだめ」「もう一生の買い物ではない」「ひとめぼれは危険」。住まいる購入は、結婚と似ている。良いと思ってももう相手(買手)がいたり、タイミングが合わなかったりもする。「複数見て目を肥やして」との忠告もあつた。考え方は人それぞれで、結婚も住まいるも、最後は自分の心一つで決まる。ゆえに悩ましいのかもしれない。

人がひとを支える

お便り 前回は、彼氏が突然亡くなりひとりになったSさんへの、みなさんからのメッセージを特集しました。山口県の男性(48)から届いた感想です。「朝刊読みました。涙が出そうになりました。嫌なニュースが多いなか、人がひとを支えようとする記事はホッと安心することが出来ます」

ありがとうございます。そうなんです。だれかが助けを求めたときのみなさんの力は本当にすごい。多様な視点やアイデア、意を尽くした言葉がどっと集まります。今後ともどうぞ折々にお力添えくださいますようお願い申し上げます。

東京都の60代の男性のファクスです。「色々な人々が色々な場所で人生を頑張っているのだと紙面を見て元気づけられています。現在は両親が残した家に一人暮らしです」。埼玉県の男性(74)からは「近くのマクドナルドで読売新聞を読んでいてシングルスタイル欄があり、一気に読みました。妻に先に逝かれました。これから楽しみにしています」とメールが来ました。

いろいろな場所で読んでくださる姿を想像しつつ、台風の影響を案じています。みなさまどうか大事ありませんように。(シングルスタイル編集長 森川聡子)

結婚と似ているらしい

不動産購入を巡る、いろいろな言葉を聞いた。「100%はない。75%でよしとする」「慎重に」「考え過ぎてためだめ」「もう一生の買い物ではない」「ひとめぼれは危険」。住まいる購入は、結婚と似ている。良いと思ってももう相手(買手)がいたり、タイミングが合わなかったりもする。「複数見て目を肥やして」との忠告もあつた。考え方は人それぞれで、結婚も住まいるも、最後は自分の心一つで決まる。ゆえに悩ましいのかもしれない。